

(個人用)

行政視察等報告書（個人用）

令和7年9月5日

知立市議会議長 様

報 告 者	兼子 義信
日 時	令和7年8月27日（水）～8月28日（木）
視察（研修）場所	北海道札幌市 札幌文化芸術劇場
目 的	議員研修
【概 要】	
テーマ 地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて	
1. 北海道札幌市（8月27日）	
基調講演 「主権を預かる誇りと責任」伊吹文明元衆議院議長	
パネルディスカッション	
「多様な人材の参画促進から地方議員のなり手不足問題を考える」	
2. 北海道札幌市（8月28日）	
課題討議 「地方議員のなり手不足問題の取組報告	

【所感、知立市政への反映に向けた課題等】

「地方議員のなり手不足問題」を全国市議会議長会フォーラムのテーマとして扱わなければならない深刻な社会状況になってしまっていることを、参加してみて実感した。

なぜなり手が不足してきているのか、今回の研修に参加して思ったことをいくつか挙げてみると以下のようなものである。

- ① 人口減少と若者流出で、そもそも立候補できる人のプールが縮小。
- ② 特に町村部では議員報酬だけで生計を立てにくく、若年層・女性・会社員の参入ハードルが高い。
- ③ 議会・委員会・地域行事・相談対応などで夜間・休日も増えがち。育児や本業との両立障壁になっている。
- ④ 対面・オンライン双方でのハラスメント経験が無視できず、とくに女性で比率が高いとの調査結果。心理的コストが敬遠要因。
- ⑤ 選挙準備や手続・資金・後援会づくり等の負担が重い一方、キャリアの安定性や評価が見えにくい。

これらの課題を知立市議会としても解決に向けてすぐにでも取り組んでいく必要がある。今回の研修に参加して、知立市で今後取り組んでみたいことは以下のとおりである。

- ① 主権者教育。小学生から高校生、一般の市民も含め、知立市役所の5階の議場を見学できる機会を増やし、議員との懇談も入れていく。
- ② 同じく、現在行なっている「高校生議会」を高校生から見てもっと魅力あるものに変えていく。高校生の意見を取り入れる工夫が必要。
- ③ 議員が行っている日々の活動をもっと見える化する。議会だよりやSNSの活用など。
- ④ 「市民の意見が市政に反映する」こと工夫してアピールする。
- ⑤ 議会モニターさんの協力を得て議員の魅力を発信する。

特に若い人や女性議員のなり手が増えるよう努力していきたい。

※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。